

トランプ米大統領との首脳会談に挑む習近平国家主席

— 対米貿易摩擦の回避が最重要課題 —

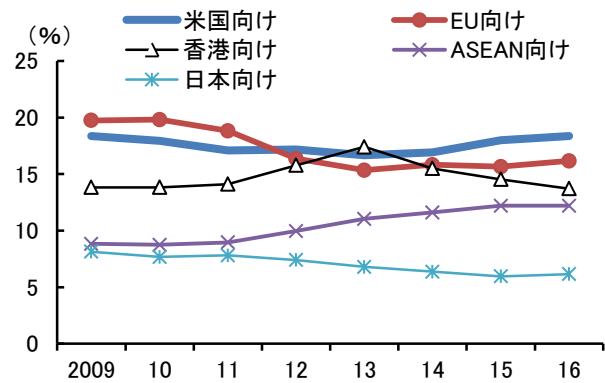
- (1) 4月6～7日の2日間、中国の習近平国家主席は米国のトランプ大統領と首脳会談を実施する。トランプ政権発足後、米中首脳の間接会談は初めて。
- (2) 習近平国家主席は、①米中関係、②米中が共に関心を持つ国際問題について、首脳同士が率直に意見を交換し、理解を深めることで、関係強化につなげたい意向(図表1)。一方、トランプ大統領は、米中貿易の不均衡を最重要課題と位置付け、中国側には是正を求める意向。
- (3) 中国側からみると、米国は中国にとって最大の輸出先(図表2)。2016年の輸出に占める米国の割合は前年比+0.4%ポイントの18.4%。
- (4) 中国の貿易収支を主要相手国・地域別にみると、対米貿易黒字は香港に次ぐ規模(図表3)。2016年の対米貿易黒字は15年より若干減少したものの、約2,500億ドルで高止まり。
- (5) 人民元の対米ドルレートは、2015年夏以降弱含みで推移したが、17年に入り元安進行は一服(図表4)。中国は資本流出に伴う元安を防ぐために為替介入を行っており、為替介入で元安誘導したとの批判は当たらない。

(図表1) 米中首脳会談で予想される議題

テーマ	予想される主要議題
米中関係	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易不均衡の是正 ・為替政策(人民元の対米ドルレート水準や為替操作など)
共に関心を持つ国際問題	<ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮の核・ミサイル開発への対応 ・南シナ海情勢

(資料) 中国外交部、各種報道

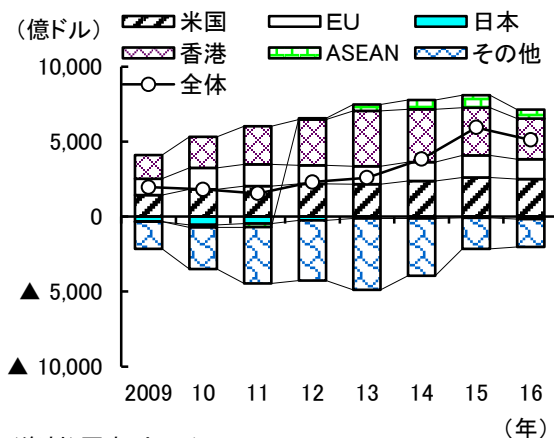
(図表2) 中国の輸出構成(仕向地別)



(資料) 国家統計局『中国統計年鑑』、海関総署『海関統計』(2016年12月号)

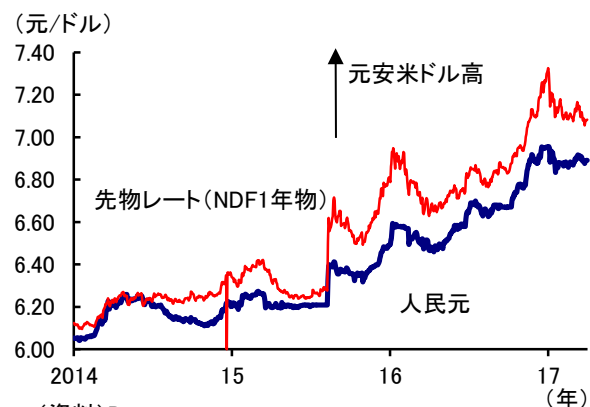
(注) EUは、中国の貿易統計に従い、28カ国で算出。

(図表3) 中国の貿易収支(主要国・地域別)



(資料) 図表2と同じ

(図表4) 人民元対米ドルレート

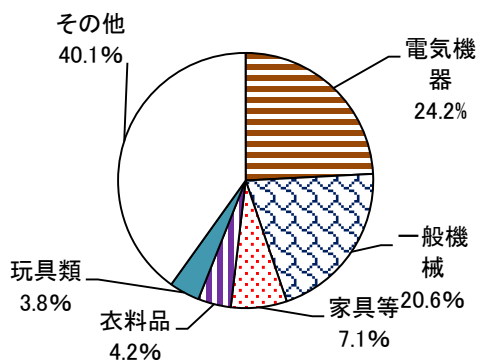


(資料) Datastream

(注) 最新は、17年3月31日。

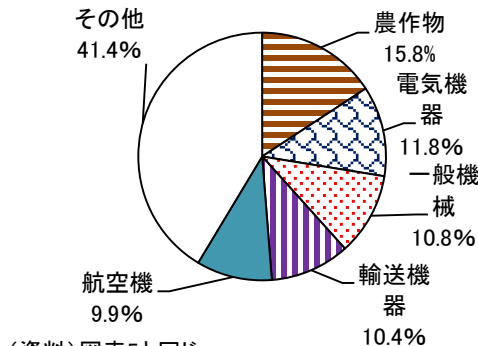
- (6) 貿易不均衡の是正については、2月の日米首脳会談と同様に、ハイレベルの協議枠組みを設置し、交渉を進めることで合意する可能性が高い。
- (7) もっとも、交渉を通じて、貿易不均衡を中心とした米中二国間の経済問題が解消に向かうかどうかは不透明。交渉が進展せず、トランプ政権が中国製品に対する関税引き上げなどの強硬策を講じた場合、中国の輸出産業に深刻な影響が及び、電気機器や一般機械、家具や衣料品など、幅広い業種で雇用環境が悪化する恐れ（図表5）。
- (8) 中国側はこれまで貿易摩擦が懸案となった際、米国からの主要輸入品である農作物や航空機の買い付けで対応しており、今後の交渉でも、この手法が用いられる可能性が高い（図表6）。
- (9) 対米直接投資は拡大基調ながら、米国側は安全保障上の懸念や技術の流出、中国側は資金流出に対する懸念が強く、増加ペースは緩慢なものにとどまる見通し（図表7）。中国企業の対米直接投資は日本企業のような雇用創出効果が見込めないことから、貿易摩擦を緩和する打開策にならない。
- (10) 習近平国家主席は今秋に共産党大会を控えているため、トランプ大統領との初の首脳会談を成功させ、対米貿易摩擦の回避に道筋をつけたいところ（図表8）。中国経済・政治を展望するうえでも、今回の会談には要注目。

(図表5) 中国の対米輸出(品目別、2016年)



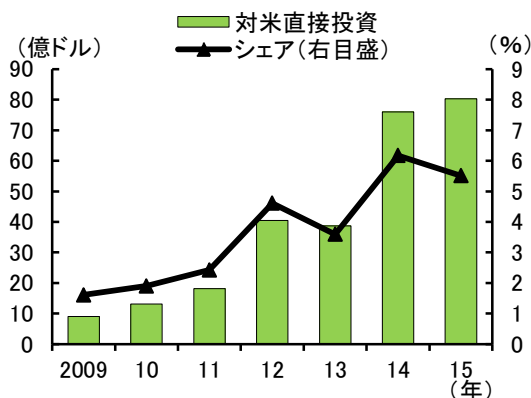
(資料) 海関総署『海関統計』(2016年12月号)
 (注) 衣料品は、HSコード第61類(ニット製品)。

(図表6) 中国の対米輸入(品目別、2016年)



(資料) 図表5と同じ
 (注1) 農作物は、HSコード第1類～第24類(第3類の水産物は除く)の合算。
 (注2) 輸送機器は、HSコード第87類。

(図表7) 中国の対米直接投資



(資料) 商務部等『中国対外直接投資統計公報』
 (注) ネットベースの数値。

(図表8) 習近平政権の重要政治日程(今後1年程度)

時期	予定される出来事
2017年5月	一帯一路サミット
2017年夏～秋	水面下で次期指導部人事の調整、政策方針の策定
2017年秋	第19回共産党大会(19全)開催、党指導部人事の確定
2018年3月	国家指導者人事の確定

(資料) 各種報道